

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL. 4

開催地：多良木町黒肥地7区

平成19年5月22日（火）、多良木町黒肥地7区において、「くまがわ

・明日の川づくり報告会」が開催されました。

黒肥地地区7区公民分館にて開催された同報告会には、約30名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

町内	22名
町外	3名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・方針に関する説明について親切丁寧に行って頂きたい。(1.森林面積について針葉樹、広葉樹別の水位や森林に水を蓄えるための手法等。2.歴史的洪水の説明について計算の設定条件(河道条件)や今の市街部が形成された時代等。3.人吉層が分布している具体的な範囲(鉄道橋付近は凝灰岩と考える)。4.魚や水生昆虫がどのくらい減ったのか等)
- ・基本高水流量の7,000m³/sは過大であるという学者がいるという話を聞いた。

【球磨川の治水対策について】

- ・洪水時にダムから放流すると球磨川の水位が高くなるため、水門を開けても水が吐けず水がたまってしまい、王宮神社付近の民家1軒や田畑が浸かっている状況。排水口の整備など対策を行ってほしい。
- ・王宮橋下流右岸の河川敷が藪になっており、川の流れを阻害していると思うので撤去して頂きたい。
- ・人吉市の河川整備が厳しいことを考えると、人吉市街地をバイパスする河川を作ることは検討しないのか。
- ・相良村の不発弾を取っただけで川の流れが良くなり、今年は水害が起きなかったという話を聞いた。まずは、ダムを造るのでなく土砂を撤去されてはどうか。川辺川の不発弾撤去を行った箇所付近は堤防もなく地元の方は対策をしてほしいと言っていた。
- ・黒部ダムや清願寺ダムではかなりの土砂が堆積している聞いた。川辺川ダムでもそのようになるのではと懸念している。
- ・ダムの堆砂量について、水を貯める容量(洪水調節容量)と土砂を貯める容量(堆砂容量)の内容がわからない。
- ・市房も含めてダムの堆砂容量が満杯になった後に、100年に1回の大洪水が発生した場合、当然、水と一緒にかなりの土砂も流れてくると思う。その場合、洪水調節容量まで土砂が埋めてしまい、治水機能を果たせなくなるのではと思う。

【球磨川の環境について】

- ・里の城大橋の下にはサイクリングロード等が整備されており、河川敷に降りるために20m位の階段も整備されているが、草が生い茂っており利用できない状況。憩いの場、レクリエーションの場として町民が利用できるように整備してほしい。
- ・中鶴橋から王宮橋の間は子供たちの遊びの場となっているが、三角ブロックや蛇籠等があり危険である。子供たちが安全に魚釣りや水遊びが出来るようなもの(水制など)を2カ所ほど整備して頂きたい。
- ・市房ダム下流の川底の石が白くなっている。
- ・水質汚濁防止については、人吉球磨、八代の住民が一体となって川づくりへの意識の高揚を図っていく必要がある。
- ・大雨が降ると土砂を留める機能がないため、濁り水がそのまま河川に流れ込んでいる。林業関係者・国・県が一体となって会合を頻繁に図り対策を行って頂きたい。

【その他】

- ・国交省、県が一体となってこの会合を開かれている。単なる意見を聞く場でなく、今後の河川整備がより効果が出るような対策を取って頂きたい。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

